

共通専門基礎科目	協働的医療実践の展開					
看護学科	選択	1単位	講義	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	必修					
科目名	医療安全学Ⅱ（実践論） Health Care Safety II (Practice)					
担当教員	◎稲本俊 出森智子					
目的	4年生対象の科目のため、臨地実習を終えたか、もしくは継続中であることから、適宜、事例を用いて実演あるいは討論形式を取り入れて学ぶ、看護、検査といった単独の分野だけでなく、業務領域を超えた事例も取り上げ、問題の解決方法やコミュニケーションの重要性を学ぶ。また医療者と患者間の問題解決のためのメディエーションについても学ぶ。事例をあげ、医療安全についてさまざまな視点から考える。たとえば輸血ミス例について主治医、看護師、検査技師、事務員等の視点で考える。またメディエーションのやり方、意義について学ぶ。また事例をあげ、患者あるいは家族とのコミュニケーション、およびトラブルへの対処法と留意点を学ぶ。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全における医療メディエーションの意義を理解し、その方法を用いることができる。</li> <li>その過程においてセルフ・メディエーションの能力を養い、セルフ・メディエーションを行うことができる。</li> </ul>					
他科目との関連	医療安全学Ⅰ（概論）					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	指定のレポート評価				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	なし					
参考資料	医療メディエーション（和田仁孝／中西淑美 シーニュ）					
備考 （受講上注意、 事前学習等）						